



地域・駅・新幹線ニュースター

はっしん！新青森

青森県立青森西高等学校

Aomori Prefectural Aomori Nishi Senior High School

×

青森大学

AOMORI UNIVERSITY

2021年4月10日(土)
第21号
[FREE]

青森大学・青森西高等学校
高大連携事業
協力：JR東日本新青森駅
〔青森学術文化振興財団助成事業〕

東北デスティネーションキャンペーン開幕



東北6県を舞台にした大規模観光キャンペーン「東北デスティネーションキャンペーン（東北DC）」が4月1日に始まりました。東日本大震災発生から10年、「巡るたび、出会う旅。東北」をキャッチフレーズに、9月までの半年間、約200件の企画で東北の魅力をアピールします。

JR東日本の各支社などがつくる推進協議会が、全国のJRグループと協力して開催します。

「花」「自然・絶景」「歴史・文化」「食・酒」「温泉」「復興」の6テーマを設け、さらに「桜・花」「雪解け・新緑」「縄文文化」など、24のカテゴリーを設けて、「東北の魅力」を紹介していきます（QRコードから専用サイトに接続できます）。季節ならではの景観や体験を味わえるツ

アー、イベントを展開するほか、100本以上の観光列車を運行します。DCは主に3カ月単位で開催されてきましたが、半年間にわたって開かれるのは初めて。東北6県全域が対象となるのは1985年以来です。4月3日には新青森駅で記念セレモニーが行われ、東北新幹線のDCオーブンング臨時列車「東北DC復興号」の利用者を三村申吾青森県知事が出迎えました。



新青森駅

ステーションブース設置

JR東日本は2021年3月、オンラインのビジネス業務などに使用できる「ステーションブース」を2基、新青森駅に設置しました。

同社の資料によると、新型コロナウイルス感染症時代のさまざまな働き方に対応するため、これまで国内100カ所にステーションブースをはじめとするシェアオフィス「ステーションワーク」を設置しました。青森県内では、新青森駅に初めてステーションブースが登場、八戸駅のホテルメッツハブも提携店に登録

されています。

ブースは高さ2.3m、幅と奥行きが1.2mで、電源やモニター、Wi-Fi等を備えています。午前7時から午後9時半まで利用ができます。料金は15分当たり275円（税込）で、Suicaや、会員登録することでクレジットカードで精算できます。

新青森駅では2月からトイレ・コピーが営業しており、ステーションブースの設置と相まって、利便性が向上しています。



新青森駅の待合室に設置されたステーションブース

青森駅

まちの玄関 装い一新 東西自由通路と新駅舎の使用開始

青森駅の第5代駅舎が2021年3月27日、誕生しました。駅の東西を結ぶ自由通路と一体化し、リંગジ箱を思わせる壁面で「新たなまちの玄関口」を印象づけています。オープン初日は多くの人々が訪れ、新しい駅舎の使い心地を確かめていました。

4代目の駅舎は3月26日で使用を終えました。前後して、切符の自動販売機の移設などが始まり、名残を惜しむ市民や鉄道ファンが、構内を散策したり写真に収めたりしていました。翌27日は早朝から「新駅舎での一番列車」を目指す鉄道ファンらが詰めかけ、新しい駅舎と自由通路を見学する人々ににぎわいました。

青森駅は1891（明治24）年に開業、1959（昭和34）年に第4代駅舎が建設されました。その後、長く



青森市の玄関口として親しまれてきましたが、バリアフリー対策などのため、2018年10月に東西自由通路の工事が開始、併せて駅舎も整備されました。

青森市の資料などによると、自由通路は長さ約170m、幅約6m、事業費は約95億8,000万円です。

改札は従来の東西2カ所から1カ所にまとめられました。その隣に、「みどりの窓口」や「びゅうプラザ」、売店、待合コーナーがあります。JR東日本と青い森鉄道はこれまで同様、券売機や切符の販売所が別々で、改札外にはトイレがないので注意が必要です。

4代目駅舎は4月に解体が始まり、9月からは、青森駅前西口広場の整備がスタートします。そして4代目駅舎の跡地に2024年度、新しい駅ビルが建設されます。

北海道新幹線 開業5周年を祝う

新青森駅 / 奥津軽いまべつ駅

北海道新幹線が2021年3月26日、新青森-新函館間開業から5周年を迎え、各地で記念のイベントが行われました。

青森市の新青森駅では同日午前、東京駅から到着し新函館北斗駅行き「はやぶさ7号」の乗客を工藤富士雄駅長らが横断幕で出迎え、うちわなどを手渡しました。今別町の奥津軽いまべつ駅では28日午前、ホームで、町の人たちが新函館北斗行き「はやぶさ1号」と東京行き「はやぶさ18号」を歓迎し、乗降客にキーホルダーなどをプレゼントしました。駅前広場や近くの広場で地元の「荒馬踊り」3組が舞いを披露したほか、駅近くの体育館で記念イベントが開かれました。



青森西高校「おもてなし隊」がゆく②1

台湾の生徒らとオンライン交流会

青森県立青森西高等学校「おもてなし隊」隊員 26 人が 3 月 25 日、年度の活動の締めくくりとして、青森県の三村申吾知事を交え、台湾・慈濟（じざい）大学附属高級中学校とのオンライン交流会を開きました。両校の交流は 2019 年 12 月、慈済大学附属高級中学校の生徒が修学旅行で青森西高校を訪れて始まりました。2020 年度はコロナ禍のため直接の行き来はできませんでしたが、青森西高校の生徒たちが手作りマスクや青森県を紹介するビデオを制作して送り、台湾からも手作りのマスクが届きました。

台湾からの英語での「ごけいはクリスマスと関係あるのですか？」「なぜ、お正月ではなく大みそかにそばを食べるのですか？」といった質問に「クリスマスとは関係ありません」「そばはすぐみ切れるので、1 年の良くないことを断ち切るために大みそかに食べます」などと英語で答えていました。

2 年の榎引深咲さんは「ハビニングもあったけれど、みんなで臨機応変に頑張った」、同じく木村菜乃花（なのは）さんは「冬休みに英語に力を入れた成果を出せた。オンラインでも交流することはできると自信がついた」と顔をほころばせていました。



モニター（右上の画面）に向かって笑顔で手を振る榎引さん（前列右）、木村さん（前列左）とおもてなし隊員ら

「富野由悠季の世界」 青森県立美術館 工藤学芸員に聞く

青森展限定のコーナー必見

青森県立美術館で 5 月 9 日（日）まで、企画展「富野由悠季の世界」が開かれています。「機動戦士ガンダム」の総監督を務めた富野の世界を、約 3,000 点もの作品や資料で振り返ります。鑑賞のポイントを担当の工藤健志学芸員に聞きました。

▼6 館の学芸員の「合作」展示

同展は富山県美術館、福岡市美術館など、全国 6 美術館の共同企画として、2019 年夏にスタートしました。青森県立美術館では 2020 年 4 月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス又感染症の拡大のため延期され、この会期となりました。

展示は富野の足跡を「宇宙（そら）へあこがれて」「大地への帰還」など 6 テーマに分けて紹介し、6 美術館の学芸員が各テーマのコーナーを担当。各館の展示がそれぞれ、学芸員の「合作」となりました。

▼芸術青年としての横顔

冒頭には、技術者の父の影響が感じられるスケッチが並びます。絵を描いたり、詩を書いたり映画を撮ったり、芸術青年としての横顔を持っていたそうです。

1970 年代の放映当時、子どもたちが熱狂した「海のトリトン」や「勇者ライディーン」を皮切りに、「ロボットもの」の概念に収まらない、アニメとメカ、人の精神を融合させた世界観が深まっていく様子が浮かび上がります。「通常は捨ててしまう制作時の中間生成物をあえて見せている」といい、膨大なスケッチや作画メモからも、制作陣のまなざしや息遣いが感じられます。

▼青森展独自の展示・コーナーも

工藤さんの担当は、「伝説巨神イデオン」（1980 年）を中心とするコーナーで、他の美術館の企画展になかったプラモデルなどが独自に展示されています。「プラモ



デリー一つとつても、放映当時は子ども向けの造形だったのが、プラモの成長に伴い、大人向けの造形に進化している様子がうかがえる」（写真上）。実験的手法を多用し、工藤さんお気に入りの作品といえます。このほか、SF 映画の美術の巨匠、シド・ミードが、アニメ「Vガンダム」用に描いたイラストなどが、青森展独自の展示として、壁面を飾っています。

三内丸山遺跡

YouTubeで発掘・研究成果を報告 ―「6 本柱」修復工事現場の見学会

三内丸山遺跡の 2020 年度の発掘調査や特別研究の成果が、5 月 30 日（日）まで YouTube で公開されています。例年は遺跡報告会を開催してきましたが、今回は新型コロナウイルス又感染症への対策として、オンライン報告となりました。北海道・北東北の縄文遺跡群世界遺産登録推進本部の Youtube チャンネルで公開されています（QR コード）。



【内容】

▽第 1 部：発掘調査成果報告『令和 2 年度三内丸山遺跡発掘調査成果報告』（三内丸山遺跡センター保存活用課・山地雄大文化財保護主事）

▽第 2 部：特別研究成果報告『円筒土器文化における集落の美観をさぐる一時期差・地域差・存続期間等の比較研究―』（三内丸山遺跡センター保存活用課・加藤渉文化財保護主事）

生まれ、長寿命化の改修工事が行われている大型掘立柱建物で、工事現場の見学会が開かれます。6 月初めまでの毎週水曜日と金曜日（4 月 14 日・16 日・21 日・23 日・28 日・30 日、5 月 5 日・7 日・12 日・14 日・19 日・21 日・26 日・28 日、6 月 2 日）、時間は午前 9 時 50 分～10 時 30 分、午後 2 時 50 分～3 時 30 分です。対象は小学 4 年生以上（小学生は保護者同伴）で、定員は各回 10 人です。

メールがフアクス、電話による事前申込制で雨天決行、先着順です。詳しくは、三内丸山遺跡センター（電話 017-781-6078）へ。

見学時間 9:00～17:00（入場は閉館の30分前まで）

GW(4/29～5/5) 9:00～18:00

休館日 毎月第4月曜日（祝日の場合は翌日）、12月30日～1月1日

観覧料 一般 410円(330円)／高校・大学生等 200円(160円)／中学生以下 無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

※特別展は別料金、展示内容により変更する場合があります。

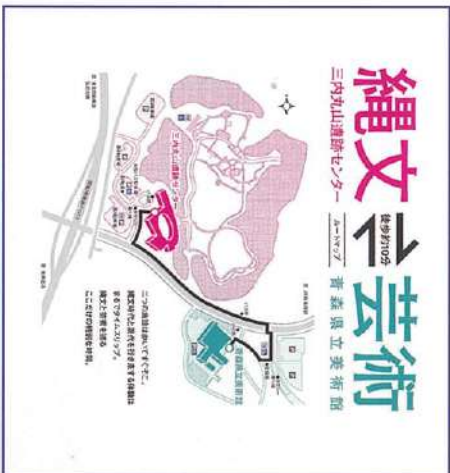
※個人観覧者は、青森県立美術館のチケット提示で割引（特典あり）。

（詳しくは各施設のチケットカウンターまでお問合せください。）

〒038-0031 青森市三内字丸山305
TEL 017-766-8282 / FAX 017-766-2365
URL <https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp>



三内丸山遺跡センター



青森県立美術館

開館時間 9:30～17:00（入場は16:30まで）

休館日 毎月第2、第4月曜日（祝日の場合は翌日）

※企画展開催時、展示替えにより変更する場合があります。

観覧料 一般 510円(410円)／高校・大学生 300円(240円)／小学生・中学生 100円(60円)

※（ ）内は20名以上の団体料金

※企画展は別料金、展示内容により変更する場合があります。

※個人観覧者は、三内丸山遺跡センターのチケット提示で割引（特典あり）。

（詳しくは各施設のチケットカウンターまでお問合せください。）

〒038-0021 青森市安田字近野185
TEL 017-783-3000 / FAX 017-783-5244
URL <http://www.aomorimuseum.jp>



新青森駅 ⇒ 三内丸山遺跡センター：循環バス「ねぶたん号」（東口）約 20 分・300 円、タクシー（南口）約 10 分・1,000 円前後、徒歩約 30 分
⇒ 青森県立美術館：「ねぶたん号」（東口）約 10 分・300 円、タクシー（南口）約 12 分・1,200 円前後、徒歩約 40 分

Facebook ページ Instagram アカウント



< ネット情報 >

Facebook ページと Instagram アカウントを開設し、独自の記事・情報を掲載しています。ご意見をお寄せ

下さい。また、PDF 版を青森西高校ホームページ（<http://www.aomorinishi-hasen.jp/>）に掲載しています。いずれも、右側にの QR コードからご覧いただけます。

☆このニューススターは、青森大学社会学部・楢引研究室が企画・制作し、文責を負っています。お問い合わせ

FB ページ Instagram



青森西高校 ホームページ

